

○「地区連絡会議で活動目標を設定」

(京都府相楽郡笠置町地区連絡会議)(第2回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年10月4日(金) 10:55~11:30
- 場 所: 笠置町産業振興会館
- 出席者: 委員8人
事務局2人
- 報告者: 今井 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 笠置町の中央を東西に木津川が流れ、川の両側には急峻な山が迫っている。
- 木津川の南側をJR関西線が走り、笠置山は後醍醐天皇が挙兵、籠城した場所として知られている。
- 農地は、木津川の北側に走る国道163号と山裾の間に、帯状に水田が広がり、畑地は山間部に点在している。



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 山際には獣害防止柵が張り巡らされているが、川沿いの水田にイノシシやシカが出現し、農作物被害がでている。山間部の畑地では猿の被害もあり、遊休化が進行している。
- 今回は、農地利用の最適化を推進するため地区連の活動目標を決めることとし、事務局が準備のたたき台を説明後に意見交換を行った。
- 「笠置の一番大きな課題は獣害」、「農業をリタイアする最大の原因が獣害」など獣害に対する意見が最も多く、「集落内の農地を守ることが大切」、「後継者は農業を手伝わない」、「笠置の農地は狭小で使いにくい」など幅広い意見が出された。
- 獣害、担い手不足など多様な意見が出され、委員ごとに活動内容が異なるように思われるため、「笠置の米と農地を守ろう」を活動目標に設定することとなった。今後、各委員が個々の活動を決める。

4 活動結果

- 情報・意見交換 1 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援